夕刊 磐城新聞
二月二十六日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（普通欄 金六拾錢 雜報欄 金九拾錢）五行十二字詰一行一囘（場所指定一行卅錢增）
編輯印刷兼發行人 遠沼讓輔 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社 登錄電信略號（タイライワキ）平局私書函第十二號 電話五六四番

電燈料金値下問題と善後策

熱東生（寄）（3）

何故値下せぬか

附、單位用語概念

之等の事より、も一度繰返して云ふて見る、電燈料金は此處數年間どの會社も少しも値下げして居ない、全國的に起つた値下運動も何等其効なき始末である、處が電力料は前記の如く最近めちやくちやに下落して來た（常磐地方）電力料が下つたのに、何故電燈料が下らないのか、此處が誠に面白い問題の一つである、電燈料を値下げしない前記の理由以外に、まだ誰にもわかりきつたような理由があるのである、即ち電氣法令には電氣事業を保護する意味に於て、電氣事業者に配電區域、卽ち地盤と云ふやうなものを考へて置く、この地盤には他會社の飛び入りがなか〱六ヶ敷い事になつて居る、電力の方にもやはり、地盤はあるのだが、數量如何によつては何處に食入つても差支はない、つまり電燈の配電區域には競爭者はないが、電力の配電區域には自由競爭を許して置くと云ふ事になる、其處で電燈料は競爭者がないからなか〱値下げしないが、電力料金は契約期間がきれると競爭者が飛込むから、値下げして過剩電力の處分をしようとあせつて居るのである、實に獨專事業の色彩を遺憾なく發揮したやり方と云はねばなるまい。

然らば如何にすれば電燈料金値下げの實を擧げうるか、又如何にすれば需要者として滿足しうるかにつき次に研究して見よう。

本文に入る前電氣單位に關する用語を一寸申上げて置く、電氣には電壓、電流、電氣力の三つが實用上最も基礎的な單位である、電壓は電氣を流のうとする壓力であり、電流は其壓力に因つて起つた電氣の流れ、壓と電流をかけたものが電氣さ實力で、之を電氣力と云ふ。

電壓は『ヴォルト』で稱へ電流は『アムペア』で呼ぶヴォルト、アムペア、で計算せられた電氣の實力卽ち電氣力の單位が『ワット』である、例へば、百ヴォルトの電壓を有つて居る、燈回線に、五アムペ〃の電流が流れて居るとすれば、其回線につながれて居る電燈全体に消費されつゝある電氣力は五百ワットである（100×5=500）同じ五アムペアの電流でも二百ヴォルトの電壓の下に流れて居れば、そこに運ばれて居る電氣力は千ワットである（200×5=1000）アムペアとヴォルトは、どんなに大きくても何等アムペア、何萬ヴォルトと云ふがワットの方は千ワットを以て一キロワットとして居る。

ヴォルトとアムペアの相乘積がワットであつて直に電氣の實力を表はすと云ふても、それはほんの根本原則に關する事であつて複雜な電氣回路では、電氣現象にいろんな變化があるものと御承知願ひ度い。

次に取引に用ふる實量はキロワットに時間を乘じたもので表はす、言ひ換へれば、何キロワットの電力が何時間續いたかと云ふ事が、電氣の實量を示す標準となるのである而して此の單位稱呼として『キロワット時』の語を用ふる、例へば五キロワットの電氣力を二時間使用すれば十キロワット時であると云ふ具合に、キロワット時間の相乘積である、それで一キロワット時と云へば一キロワットの電氣力を一時間繼續したときに消費された電き力量であると云へるのである。

小春日（童謠）

原　勝

野燒きのあとの
くろい山
春はそこまで
來てゐるか
今日で二日も
先生は
病氣で學校
休まれた
蒼空遠い
池の岸
白い蝶さへ
飛んでゐる
どこかで牛も
啼いてゐて
羽織を脱ぎたい
あたたかさ。

拈華微笑

鐵道の要求も容れ度い失業者も出し度くない。
炭礦近來の苦衷
◇
三日がかりで質問材料蒐索。片や答辯材料蒐集
◇
磐炭で天狗揃ひの奇拔な全日本民謠大會
◇
盗馬を買ひ損ねた頓馬男
◇
けふ金毘羅様あさつてから火打合、鳥小屋等。等舊正氣分横溢

—（今月今日）—

△萩生徂來生る、晩年悟る處あり、古文辭の學を唱へ一代を風靡す識見の高邁なる其比を見ず（寛文六）△室鳩巣生る、宋學を主張す、其著『駿臺雜話』世に行はる（萬治元）△間宮宗倫歿す、幕府より樺太島探檢を命ぜられ苦辛慘憺韃靼海峽を通過し黑龍江地方を踏破したる探檢家なり（弘化元）△各省官制公布（明治一九）△東洋モス爭議惡化七十名檢束さる（昭和五）△新派俳優の巨頭福井茂兵衛氏死す（同）

時代警句（桂月）

（人間は種々なものに縛られてゐるから自分で自分迄縛らなくても好いぢやないかと云つた、なる程人間が生きてゐたと云つて何も齷齪として日記を附けて置かねばならないと云ふものではあるまい、併し日記に縛られずに何をするかゞ問題である何の目的の爲に自己を開放するかゞ問題である……（青年）

ラヂオ

……廿七日（金曜）……

仙臺 JOHK

△前七、〇〇 七、三〇B ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理獻立（フリカツセチキン ヒナ鳥の湯煮）朝倉長吉
長吉發表 日用品値段
△九、三〇 一〇、二〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇A 家庭講座（職業指導と學校敎育）津田信長
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
△〇、四〇A 全國ニュース ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況
△二、〇〇 二、三〇A 家庭大學講座（獨逸文字第六講 浪漫主義の文字）文學博士山岸光宣
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報（積雪量）
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース ニュース
△五、〇〇 五、三〇 ローカル 緬羊講座（羊肉調理に就て）一戸食物研究所長一戸伊勢
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇A（子供の時間）童話劇（谷間の白百合）原作生田葵 JOAK唱歌隊
△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科一三）岡倉由三郎
△七、〇〇A 全國ニュース（官廳ニュースを含む）ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
△七、二五 七、五五 ローカル 趣味講演（昔の千賀ノ浦と今の鹽釜港）『第一講』金德淳
△八、〇〇 八、三〇A ラヂオドラマ（第二の犯人）和田保作、中村之鶴一座
△八、三〇 九、〇〇A 浮世節
△九、〇〇 九、三八A 浪花節（文覺と景清）早川辰燕
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

講談 元祿名妓傳

小邑井小邑演
（宮野恒彦畫）

第八席

善『ヘエ〱畏まりました、就きましては恐れ入りますが、旦那様のお屋敷は何れでございますか、助けて頂いたお方のお名が知れなくては、手前が主人に申譯がありません、どうぞお屋敷をお敎へ下さいまし』武『夫れは迷惑千萬、名を聞いて禮にでも來る積りであらうが其の心配には決して及ばぬ、又今晩の事柄を其方が手柄らしく主人に話すにも及ぶまい、姓名を名乘ることはならん』と聊か氣色ばんだ言葉　善『ヘエ〱左様でございますか、誠に失禮の義を申上げました』其處で五人の人々が、通りへ出て來ましたが、其の頃のことでも此邊には相當の人家がございます、時に武士は　武『最早大通りもある道、此邊からは眞逆に狼籍者も出まい、こゝで別れることに致そうぞ』例の銀鈴を振るが如き音聲眞深にかぶつた山岡づきんを脱ぎ下男に持たせて來たあみ笠を取つてかぶりましたが是れがお房に魔がさしたのでございませう、件の武士は腕前と云ひ立振る舞と云ひ、相當の年配の方と思ひの外、歳は二十五六眉毛の黑くこひ、さかやきは幾らかのびして居りますが、色のクッキリと白く面長な實に女にしても見まほしき美男でございます、お房はその顔を見ると戀風がゾット總身にしみ渡り眞赤になる今までは一生懸命な場合とは云へ乍ら、相應に口も利けたが端たないをんなと思はれはしないかと、恥かしさが身體を堅くしてぼうせんとし、其姿に見惚れて居ります　善『旦那様がお別れだと仰せがございます、お孃様能くお禮を申上げなくては……』房『アノお別れ……お別れですとね』と一切夢中　善『是れはしたり、何うなさつたのでございます、えゝ旦那様、今晩のことは何とも有難く決して御恩を忘れることでありません、左様ならば御機嫌よろしく』武士の輕く會釋して何處へ行くのか馬道とは反對の方へ行つて仕舞ひました、善兵衛夫れを見送りお房お喜知を急がせ立つて馬道の親類へ立寄り、雨は降らないが用心にかさを借り本町三丁目へ戻つて來たのが、五ッ半午後の九時頃でございました、サア是れから右の武士のことを思ひ續け、をんなと生れた甲斐には、あゝ云ふお方を夫に持つたならば、是程結構なことはない、お房の考へは元來武家の妻になり度い希望其處で斯う云ふ理想に合つた、相手を見付けたのだから堪まりません、既に寺尾彌左衛門との間に結納の取交せが濟んで居るに拘はらず、思ひを無名の武士の上にはせて居ります、二三日は自分の部屋に引込んで悶々物思ひに耽りました、愈々明日は小西屋の店のもの一同を連れ、六左衛門が先立ちであすか山へ花見と云ふことになりました、御新造のおらくが　樂『阿方明日のた花見には娘達はどうでございます、連れてお出でにはなりませうか』六『連れて行かぬでもないが、店のものと一緒ではイヤだとお喜知は云ふ、夫れで此間向島へ行つたのだ、途中で間違ひがあつた程で、最う行く氣支は無いだらう』樂『お花見は今年一年で、來年は八丁堀へ參れば、迚も一しよにお花見は出來ません、兎に角私が聞いて見ませう』六『彼れは毎日寢てばかり居るぢやァないか』樂『デモ又氣晴らしにもなりますし』子を思ふ親の心は有難いもので、母親のおらくがお　の居間へ來て　樂『お前病氣なのかべ』房『ナニ病氣ぢやァ無いのでございます、少し考へることがありまして』樂『あすか山のお花見は明日だがお前行くまいね』房『えッお花見でございますか、往ますよ任きますよ私行きますからやつて下さい』と云ふのは丸に二ッ[illegible]の紋所、アノ武士が又花見に行つて居ないか知らと、賴まれぬことを賴みにした心からでございます、母親のおらくは聊か意外だと云ふ顔でホヽ、と笑つた。

廣告

時計職見習生 募集
十四五才ゟ 詳細面談 要保證人
平町 精幸堂

櫻麗子
林正夫
—と
妖艶溢美の花形揃ひ
斯界の前衛新人揃ひ
歌劇 東京歌舞劇團一行
◎時代の尖端に峙つ輝く官能の行進曲◎
◎近代的新解釋による社會相の嚴正批判◎
歌劇…劍劇…ジャズ…ダンス…新舞踊…社會劇
聚樂館

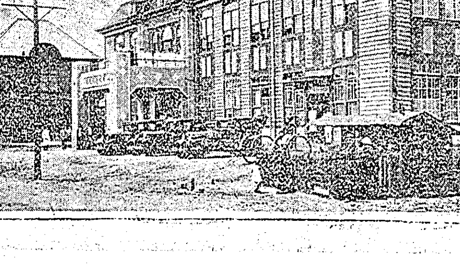
貸切自動車
今回三一年式タウンセダンを入れました皆様の御愛顧に酬ゆる爲め斷然奉仕的に御用命に應じます
平四倉間 金壹圓五十錢
市內 金五十錢
尚當館御客様の御下命に對しては特に平、四倉間片道金一圓にて御送迎申上ます
四倉町 海氣館 自動車部 電話五番

夜間診療
胃腸 十二指腸虫病 內科 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

貸切の御用命は！
三一年式モダン型ランドーセダンの
磐城タクシーへ
電話 五六九番

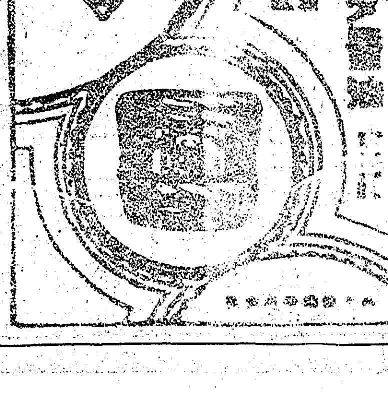
入院隨意（自炊の便あり）
X光線科 外科專門
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

磐城共濟病院案內
本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候
入院料一日……一般 金貳圓也 本會員 金壹圓五拾錢
往診料……院長及其他の博士に限り（一般金參圓也 本會員金貳圓也）平町內
尚地方往診料も之れに準じ低減致候間此段申添候也
（各科專門醫擔當）
內科 小兒科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
產婦人科 女子泌尿科
耳鼻咽喉科
X光線科
物理學的診療科



院長 醫學博士 難波陸
本院主管 賀澤忠治
一、衞生試驗所 一、病氣相談所 一、救療所 共濟病院內
救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
昭和五年九月
看護婦募集
磐城共濟會 平町 電話六四一番

合戸 澤渡 乘合開通
二月一日ヨリ
內ノ分當
平發 午前六時 十一時 午後四時半
下市萱發 午前八時半 午後一時半 六時
料金片道（八〇錢）
發着所 三好間軌道 井自動車部 電四二三・一六八五



特約店 平町田町 廣瀬支店 電話五四番

鐵道納炭値下げ問題
愈々來月初旬頃決定
常磐各社は七八分位を覺悟
片唾を呑んで待つ全國炭界

鐵道省では納炭契約更新期を前に控へ去る二十三日から先づ三井三菱系に對して價格引下げの正式交渉を開始したが當初會社の觀測では値下げの要求も恐らく一割五分を出づるが如き事はあるまいと高を括つてゐた處が噸當り九圓以上に對しては二割三分九圓以下の分に對しては二割二分引と云ふ意想外の要求に接し前記の豫想とは可なりの開きがあるので當該會社の狼狽は勿論全國炭礦界に異常のセンセイションを捲き起してゐる而も鐵道當局が終始一貫前記の方針を以て各炭礦に臨むとすれば各會社中には採算上或は自滅の悲境に陥るものなきやも未だ知るべからざるものあるので結局何等かの緩和調節策が講せられある種の政治的解決を觀るでは無いかと云ふ推測の下に目下九北方面に對する交渉の推移を刮目されてゐるが、常磐各社の納炭に對しても亦之れと均衡を保つ爲に一割乃至一割二分の値下げを要求され而して之れを實行さるゝ曉には玆に急轉して年額百萬圓の減收を來し竟に欠損の已むなき結果を招徠するに至るので之の際從業員中より之れに伴ふ失業者を出さぬ程度の操業を續くる爲常磐各社は何れも値下げは七八分見當に食ひ止めたい希望を有するものゝ如く來月四五日頭に開始されるであらうと覩られてゐる値下げの交渉に直面し各社とも其の成り行きに就て多大の不安を懷いてゐる

二十八萬二千餘圓の豫算檢討に入る
平町會けふ開催
來月二日續行再開

平町では屢報の如く今二十六日午前十時半から町會を開催し

議案

一、昭和六年度平町歳入歳出豫算の件
二、昭和六年度平町特別會計水道給水事業費歳入歳出豫算の件
三、自昭和五年度同六年度平町水道給水事業費繼續收支計算更正の件
四、縣税營業税雜種税附加税不均一課税の件
五、町税制限外課税の件
六、町税賦課率の件
七、町費寄附の件
八、町費補助の件
九、平町上水道擴張工事費補助交附方稟請の件
一〇、昭和五年度平町歳出更正豫算の件
一一、昭和五年度平町特別會計水道給水事業費歳入歳出更正豫算の件
一二、平町歳計現金預に關する件
一三、昭和四年度平町歳入歳出決算報告の件
一四、昭和四年度平町特別會計水道給水事業費歳入歳出決算報告の件

中第一號六年度歳入歳出豫算歳入二十八萬二千百二十七圓、歳出經常部二十萬八千四百六十六圓、臨時部七萬三千六百六十一圓合計二十八萬二千百二十七圓に就て町長より提案內容の說明あり明二十七日より三日間に亘つて各自檢討の上來月二日續行再開する事になり正午閉會したが右は前年度豫算三十六萬八千二百六十四圓に比し經常部二千五百九十六圓臨時部八萬三千五百四十一圓合計八萬六千百三十七圓の減額で單に經常部のみに就て見ると一割二分三厘弱の減少に過ぎぬが臨時部を一丸とし總体的に觀ると實に二割三分四厘弱の大減額である

平。小名濱。內鄉へ
師範生參觀旅行
來三日三十六名の一團が

縣男子師範學校本科第二部第三期敎生七十二名の參觀旅行は愈來月三日より七日までの豫定を以つて二班に分れて行はれるが濱通り方面三十六名の引率者は栗原敎諭白石訓導である、石城郡內の日程次の如し

▲三日福島驛發午前五時五十五分舟引小學校、片曾根農業公民學校同午後四時四十一分發平着一泊
▲四日平第一小學校、內鄉炭坑見學同午後二時十分發小名濱一泊
▲五日小名濱小學校、小名濱商業學校同午後四時十四分泉驛發富岡へ

優良船表彰
來三日江名で

江名漁業組合では來月三日午後一時から組合事務所で本縣水產會優勝旗授與式を兼ね石城水產會優漁船並に江名漁業組合優漁船の表彰を行ふ筈で平署から樫村署長臨席すると

兒童唱歌會
來月三日開催
ピアノを披露

平第三小學校では昨夏中ピアノ及体操用具を設備する爲寄附金を募集し今春初頭之が設備を了し日日の敎授上に多大の便益を得てゐるが同校では右披露を兼ね來月三日午前十時から同校講堂に於て兒童唱歌會を開催すると

候補に苦む
磐崎村議補欠戰

磐崎村々會議員四名の補欠選擧は來月五日同村役場に於いて執行されるが目下のところ名乘りをあげた候補者は一名もない

投書歡迎　槍

人と獸の限界

◇貞操問題の根本義として、有夫の妻の姦通は處刑せられ有婦の夫の姦通は處刑されない、つまり、亭主は、カカアを姦通で牢へぶち込めるが、カカアは、亭主の姦通を、訴へる事が出來ない……とかふ云ふ道理に適はない、片手落な我まま勝手な法律を第一に、撤去してもらひたいと云ふのが現代に於ける女子の叫びであるらしい

◇夫が他の女と關係しても泣き寢入りにならねばならぬとすれば、妻が男と關係しても、夫も泣き寢入りになれと云ふのは最も手荒い方で、夫婦のいづれにも告訴の權利を認めてほしいといふのは、聊か穩かな方だ、相手が盜ぼうするから此方も盜ぼうする、五分五分お互だと云ふに至つては物騷この上もなくそうなつては夫婦關係も滅茶〳〵だ

◇男と女が出會ひ頭に抱擁して刹那の快樂を貪る樣なさもしい思想は持ち度くない、一ケ月か二ケ月位互に無沙汰した婦人同志が途中バッタリ出會ふ早々『貴女まだ先の御亭主ですか、まあ、辛抱の強い事、わたしは今で三人目ですよ』なんて事になると人間だかけだものだかそこの處が一寸見さかいがつかなくなる

（平町御代豐）

金儲け內しよ話
—(14)—
折り目も正しい新品を賣り乍ら
ボロい利益の洋服屋さん

馬鹿正直にやつてゐて、五十圓の洋服から十一圓二十錢を儲ける洋服屋さん、モット儲けたいと思ふなら三圓の裏地を一圓八十錢のにとりかへ、一圓六十錢の袖裏サベルを七十錢のにとりかへ、一圓二十錢の縞スレキを只の三十錢のにごまかして……以下これに準ずる惡質低價の材料を使へばい〻。こうすりや、ここでも十圓や十二三圓は、忽ち浮き上がる、廿圓儲けようと二十五圓儲けようとた茶の子サイ〳〵だ。その上、職工の手間賃を、一圓五十錢にも一圓にも値切つてコキ使ふなら『さほど儲けがありません』と云ふやうな白々しい顏が出來ない筈。

◇

こういふと洋服屋さんは定まつて『職人を持つてると糸や炭は此方持ちですから、十圓の工賃を十圓拂つちや引合ひません。原價ヤール五圓なら五十圓で注文を取るのは普通の商法ですが注文を取りに行く、假縫に行く集金に行くで半日や一日は潰れますから普通にやつてゐたでは飯は食つて行けません』と辯解する

◇

こんな具合に『普通にやつてたんでは飯が食て行けません』といふやうな調子に、販賣競爭の烈しくなるに從つて、株屋の爲同樣の注文取りを置いて分口錢で注文を集めてゐるのがあるだがこの分口錢も、店の利益から出すのではなくて、注文品に盛かけて需用者の負擔となるは無論のこと眞に以てボロい商法となつてゐる。

◇

それでもドン〳〵注文が集つて商賣になつて行くから不思議だ。と云つて洋服屋から見れば別に不思議でも何でもなく『つまり近頃の素人衆が安いものは惡いもの、高いものは良い物と勝手にお極めになつてゐるお蔭に外ありません』と云ふ特にサラリーマンは採算にうとい若い人が多く、蝋蛤ぢやないが頭と羽根で女を釣らうとかゝつてござるだけに洋服屋の米櫃にとつては特に大切なお客さんだ

◇

これで、洋服屋は新らしくもボロさ加減を大團圓と致します、お氣に障つたらごめんなさい。

（この項終り）

各地方色を發揮して
民謠の粹を競ふ
盛況を豫想さるゝ
來三日の磐炭慰安會

磐城炭礦に於ける從業員慰安の民謠大會は來月一日の公休日を利用し午前八時から內鄉村昭和館に於て開催するが各地方出身の登場選手は合計百四十餘名の多數に上り何れも當日は我こそ一番の意氣込みで猛練習を續け毎夜の前稽古に素晴らしい人氣を呼んでゐたが昨

町村名を冠せずに
入山校と改稱申請
昨二十五日縣當局へ

湯本町では明治三十二年來同町尋常小學校敎育費の全額を同町と密接の關係ある入山採炭會社が負擔しその他私立入山鑛業補習青年訓練所費等に多大の寄附を受けてゐるので、校名を入山小學校と改稱すべく縣に認可申請したが縣では市町村を絕對的に冠する必要ありと再考を促してゐたところ二十五日同町から『湯本入山小學校』と改稱方申請して來た

命の要らぬ男女
昨年中に卅一名
首吊りが最多を占むる
平署管內の自殺と未遂

平署管內昨年中の自殺者は男十七名女十名未遂者男三名女一名で△縊死男十一女四△溺死男二女二△刃物使用男一女△銃又は火藥類男三△毒物又は劇物嚥下男一女一未遂男二△汽車女三でこの內未婚者男三女二有配偶男十四女一喪配偶者男八女一でこれが年齡別及原因は病苦五十歳以上の男五女二を筆頭に其他男五女二精神錯亂男二で二十歳より三十歳迄の情死男三女二家庭不和女二將來を苦慮女一家族の死去を悲觀女一放逸の末男二老衰を悲觀女一厭世男三で一般的傾向を見ると女の死に複雜なは原因が多い樣であると

地方の映畫ファンに
傳明其他から寄贈品
來月より平館で上映の『若者よなぜ泣くか』に提供

來月三日より當地常設平館に於て上映する佐藤紅綠氏原作（雜誌）富士連載の『若者よなぜ泣くか』は松竹會社が蒲田創立拾週年記念事業として莫大な費用を投じ岡田時彥、鈴木傳明等を主演とし蒲田總動員にて映畫化し近來の大映畫として定評を得たるもので此の映畫上映を記念すべく出演せる俳優全部が平町のファンに奉謝的寄贈品として傳明好みの自轉車其他數十點を平館へ送つて來た此の寄贈品は近く同館に陳列し入場者に抽籤の上分配提供するとの由

石城荒しの
詐欺漢檢擧
田中久太郎外二名

植田町無職田中久太郎（四八）外二名は昨五年十一月中茨城縣楢形村友部木炭商伊藤小太郎（五二）へ植田町木炭商佐藤庄吉より木炭一車（三五〇俵）を周旋するとて手附金百二十圓を要求したが伊藤が佐藤と直接契約なれば手附金を手渡しするとの事に田中が伊藤と面識なきを幸ひとして田中を佐藤木炭店主に仕たて本人は資本もあり地元の信用もありと吹聽しマンマと百二十圓を捲きあげ伊藤が再三送荷を督促したが音信なく先方調査の結果はじめて詐欺と判明もん着中松原署の探知する處となり三名共同署の取り調べをうけてゐたが前記三名は更に昨年十二月一味の橋本なるものが平町梅澤石五郎、根本政吉兩名より買入れた楢形村本鄉地內一町八反步價格二千五百圓の土地を荒廢地七反餘步あるにも拘はらず大浦村醬油釀造業鈴木康之に對し巧に他人の美田を案內し三千三百圓に賣却せるを手初めに草野村古市淺之介、芳賀義一兩名へ桑苗八噸一車（三萬本）を九百圓にて賣却するとて出鱈目な契約をなし百二十圓の手附金を詐取せる外同樣の手段を弄し十一干數百圓を橫領着服した事判明今二十六日一件書類と共に送局

盜み出した馬を
賣りつける魂膽
肉屋に交渉最中
平署員に捕はる

當時住所不定無職北會津郡湊村大字平潟中島丸壽（三七）は今廿六日午前八時半頃平町大塚肉店に至り年齡六歳位の栗毛牝馬を五十圓位の値打ちはあるが十六圓五十錢で賣却し度いと交渉中平署瀨谷刑事が擧動不審と認め同行取調べた處昨二十五日午後九時頃茨城縣多賀郡關本村大字山小屋某農家の厩舍より曳き出した事を自白餘罪ある見込で引續き取調べ中

明日の吉凶
舊曆一月十日　新曆二月廿七日

▲一白の人　福分薄く事の半ばにしてつまづきを生じ易き日▲二黑の人　心を陽氣にもてば運氣も引き立ち來るべし▲三碧の人　足元の收拾をかへり見ず先にのみはしり過ぐる日▲四綠の人　無理をすれば破れを生ず口入事もつとも注意▲五黃の人　獨尊主義に流れて敬遠せらるゝきらひある日▲六白の人　不況にしづみ居りし身もおひ〳〵吉運に向ふべし▲七赤の人　權謀は事を破る精力にまさる事はなし奮闘▲八白の人　照りてもふりても本業はなれずはげめば吉日となる▲九紫の人　自己の職業に專心なれば向上發展する日

平商夜學了る

平商補習夜學校の修業式は二十八日午後六時より擧行する

內鄉火防督勵

內鄉村では昨年十一月より毎月一回以上各戶の火防檢査を施行して來たが明二十七日には總動員で是が徹底的督勵に當ると

市原氏の美擧

平町市原病院長市原卯太郎氏は亡令閨の年回に際し追善供養の爲金十五圓とカルシューム節（茨城縣多賀郡關南村大洋商行工場製造）三十九本とを町內貧困者三十九名に贈るべくこの程平同潤會に寄附した

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番

中村式 机上毛糸織物講習會
一、講師　東京技藝學院長 中村古里女史　考案者 外助手一名
一、日時　二月二十八日・三月一日・三月二日　三日間　午前九時半ヨリ午後三時迄
一、會費　金一圓五十錢
一、會場　平町 藤田女學校講堂
一、申込　當日迄 藤田女學校又は田町ハシモトヤ糸店へ
一、其他　◎機械御入用の方は實費頒布一臺金四圓なそうです。◎毛糸は講習會に用意する筈ですが會員に於て持參するも元より可、古毛糸でも結構です。◎晝食は『バ、屋』の出張あり ◎講習完了の御方には修、證書を差上げます。◎遠方で通學不便のお方は當校寄宿舍を御利用下さい。
昭和六年二月
主催 藤田女學校講習會
福島縣平町
電話『三 二八』番

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

◎レコード破りの
石炭大廉賣!!!
（磐城炭礦二等炭）
正味十貫目一俵 金卅錢也
◈品ガ良ク『値ハ安ク』ヲモツトートスル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス
◈値ガ安クトセ品ハ惡クハアリマセン
◎磐城炭礦ノ處分的大堀出物デス品物ノナクナラナイ中ニ御注文下サイ
◎配達ハ一俵ヨリ致シマス
御注文は―
電話一三三七番
平驛前
阿部石炭商店

一九三一年式
安價百パーセント
平町有聲座前
秋山時計店